

3年生「高志学」特別授業を実施しました

令和4年4月25日（月）に3年生「高志学」特別授業を実施しました。講師は福井県庁県民活躍課寺井優介先生で、「チャレンジ応援を福井の文化に」というテーマでお話いただきました。

先生は敦賀市出身で、県庁入庁後ブランド営業課で県公式恐竜ブランド「ジュラチック」の誕生、PRを担当し、現在は「チャレンジ応援ディレクター」として県内で地域活動を行う若者（プレーヤー）の応援や、頑張っている人を発掘・リスト化し、民と公をつなぐハブ（結節点）のような役割と、県内のワクワクドキドキを、メディアを通じて県内外に発信する役割を担っていらっしゃいます。

高志中学校では、中学3年生では自分たちが興味を持っていることについて「問い」をたて、調べたりフィールドワークしたりした上で、具体的なアクションや提案につながる論文を書いていくことになります。そこで今回の講演では、市民が主体的に地域活性化に貢献していくことの重要性を学べるよう、ご自身の思いや県内若者達の取り組みをご紹介いただきました。先生は「県内でもおもしろい大人や素敵な大人に会っていくことが大事」「好きなことを大切にしよう！」などと熱く語っていただきました。また質疑応答では、「そのような人を惹きつけるプレゼン技術はどのようにしたら身につけられるのか」「今、力をいれていることは何か」などの質問があり、そこでも「多くの場に出ることの大切さ」や「とにかく人に会って話を聞き、相手を好きになることが大事」などと具体的なアドバイスをいただきました。

今後、生徒達は5月の研修で、地域活性化のために試行錯誤する人たちに実際に会いに行き、「問い」をどうやって具体化し実行していくかを学びます。そのうえで、各自の「問い」を育てていく予定ですが、生徒達は今後フィールドワークで地域に出て、多くの人に出会うことを楽しみに感じられるようになった特別授業でした。

